

no 28

2010 autumn

月刊レジャー産業資料  
10月号別冊

ENTERTAINMENT  
BUSINESS

[www.sogo-unicom.co.jp](http://www.sogo-unicom.co.jp)



>> 特集 施設レポート

恵那峡ワンダーランド ウォーターパーク「カリビアン」

# 恵那峡ワンダーランド ウォーターパーク「カリビアン」



1. プールエリアの奥に位置する、FRP製の大型「海賊船」。マストを高く掲げたその姿が存在感のあるアイキャッチとなっている
2. 「カリビアン」のエンタランス。ゲートや柵は半割の木で裝飾され、南国風の雰囲気をつくり出している
3. 周囲の縁に独特のカラーリングが映える
4. 約4,000㎡の規模のプールエリアには、いろいろな遊びの要素が盛り込まれている



## 大人と子どもがともに遊べる楽しさの工夫と 居心地の良い環境演出を徹底して追求することで独自の雰囲気を出

2010年7月17日、岐阜県中津川市の、恵那峡を望む景勝地に位置する「恵那峡ワンダーランド」に、ウォーターパーク「カリビアン」がオープンした。

同ランドは、もともとフィールドアスレチック場から発展して1970年に「恵那峡ランド」としてオープンしたもので、ロープウェイや大型観覧車などの遊戯施設を揃え、ピーク時には50万人の入園者

を集めていた。しかしながら経済的・社会的な環境の変化から大幅に落ち込み、2000年にいったん閉鎖された。

それを受けて、遊園機器の企画・設計・製造・販売等を行なうとともに遊園地の再生事業も手がける(株)岡本製作所が経営に乗り出し、02年4月に恵那峡ワンダーランドとして新たなスタートを切ったのであった。



5



6



7



8



9

- 5.高く噴き上がる噴水もリゾート気分を盛り上げる
- 6.水深の浅い幼児向けのプールゾーン
- 7.「海賊船」の横には、鮮やかに彩られたウォータースライダー(2基)が設置されている
- 8.9.「海賊船」のデッキと「浮島」に水鉄砲が設けられ、双方での撃ち合いも水遊びの楽しさのひとつ

## いま求められているのは豊かな環境づくり 施設のもつ“資産”を活かした新しい展開を全体で推進していく

comment



(株)岡本製作所  
取締役社長  
岡本典之氏

遊園地はいま、ファミリー利用へとシフトし主流になりつつありますし、これからもその傾向は一層強まるでしょう。私どもは長年にわたり遊園地事業

に携わってきましたのでその変化がよくわかるのですが、もはやライドアトラクションだけに依存していたのでは消費者のニーズは掴めません。そういう時代に求められるのは、いかに楽しい時間を過ごしていただけるかという環境的なアプローチです。それはプールにおいても同様で、今回のリニューアルに際しても、泳ぐという場の提供だけではお客さまには支持されません。その象徴的な意味合いで、緑の多い環境づくりに取り組んだことがこだわ

りのひとつでした。当施設と同じく再生事業として行っている別府の「ラクテンチ」でも緑を増やすなどの環境整備により集客がアップしています。

恵那峡ワンダーランドには、景観の素晴らしさを含め、まだ活かしきれていない資産があります。今回のプールのリニューアルを皮切りに、他のゾーンでも新しい展開を図る計画を進めており、シルバー層など幅広い世代の方々にご利用いただける施設へと発展させていきます。

遊具機器も37種類以上を揃え、再オープンしてからは集客も図れていたが、徐々に下降線をたどってきた。その背景には、消費者の遊びの嗜好の変化と“遊園地離れ”といった大きな変化があることに加えて、環境の良さに恵まれる半面としてアクセスしにくいといった条件も、遊びに出かけていくうえでのマイナス要因として作用していたといえる。

そこで、座して待つだけでは回復はできないと判断し、積極的な集客策を仕掛けていく計画に取り組んだ。その第一弾ともいえるべき施策が、今回のウォーターパークである。以前からプールはあったが老朽化が進んでいたため、プール対策は課題のひとつになっていたこともあり、リニューアルを図ることになったもの。

そのためにIAAPA(国際アミューズメントパーク・アトラクション協会)のショーの視察など、さまざまなリサーチを踏まえ、テーマとして打ち出したのが「みんなで遊べるアスレチックプール」であった。ディズニーランドの登場によって遊園地が乗り物で遊ぶ場からエンターテインメントの提供へと変化したのと同様、プール施設もまた、泳ぐという単なる機能性だけでは消費者を動かすことはできない。ウォーターパークとして、水で“遊べる”エンターテインメント的な体験と演出の工夫が求められているのである。

今回の計画は、そうした消費者目線に立って構築されていることが大きなポイントになっている。

もともとあった2つの屋外プールやスライダーなど、基本的な構



10



11



12

comment  
**つくり上げるプロセスのなかで  
 次々と生まれたアイデアを具現化  
 より楽しいパークへと次なるステップに向けた計画を進める**



株岡本製作所  
 営業企画部  
**市来豊次氏**

徹底してこだわりました。

実際に施設がオープンしてからのお客さまの様子を見ていますと、本当に楽しんでいただけていることが伝わってきます。今回、考えていたことのすべてを実現できたわけではありませんし、施工期間中は天候に恵まれず思うように捗らないこともありましたが、3日連続で来られたリピーターの方もいらっしゃるなど、喜んでいただいている笑顔を見られ、やってよかったと実感しています。

来期に向けて、運営を通じて学んだことや、今回できなかったいろいろなプランを具現化することで、さらに楽しいウォーターパークへと成長させていきたいと思えます。

今回のプールのリニューアルに際しては、遊びの仕掛けをたくさん盛り込もうということと、全体として南国のリゾート地のような雰囲気をもつ環境づくりにしたいとのイメージを当初から描いていました。阪和興業さんにも遊具や造形面でいろいろとご協力をいただきながら議論を重ねていくなかで、さまざまなアイデアが生まれ、それを具現化するだけでなく、つくり込みにも

**10.11.** 水がいっぱいになるとバケツがひっくり返って大量の水が流れ落ちる。ウォーターパークの人気アトラクションであるが、既設の橋と組み合わせた演出にしている

**12.** “浮島”に渡るアスレチックの演出。こうしたところにも楽しさをつくり出す工夫が施されている。プールに浮かべてあるワニの遊具を大人の利用客が気に入って、ショップに買いにきたというエピソードもある

造はそのまま活かしながら(配管等老朽したバックヤード部分はすべて改修)、大型の「海賊船」の設置や、水が溜まるとひっくり返って大量の水が降り注ぐバケツのアトラクションといったアイキャッチにもなる大型の仕掛けや、水鉄砲、アスレチックの吊り橋、幼児向けのさまざまな遊具など、楽しく遊べる要素を随所に盛り込んだ。

こうしたアトラクション自体はそれほど珍しいものではないが、そのなかにもう一步追求した工夫が込められている。たとえば、海賊船と“浮島”で水鉄砲の打ち合いができるようにしたり、バケツのウォーターフォールにしても既存の階段を利用してその上に水が降り注ぐことでより一層の迫力を生み出したりと、「こうしたらもっ

と楽しくなるのでは」という、つくり上げていく過程のなかで次々と生まれた演出のアイデアが、随所に盛り込まれている。一見すると“普通”に見えるかもしれないプールには、こうした細部にこだわったつくり込みが生きている。それゆえに、小さな子ども連れのファミリーをメインターゲットとして設定していたが「普通、お父さんはお子さんを遊ばせて自分は日陰で休んでいることが多いと思いますが、ここでは親子で一緒になって遊んでいて、しかもお父さんのほうが夢中になって楽しんでいる」(株岡本製作所 営業企画部 市来豊次氏)という光景が普通に見られたという。

こだわったのは、遊びの演出だけではない。「カリブ」という、ありがちなテーマを据えながらも、遊園地のプールというよりもリゾート



13



14



15



16

## お客さま目線に立った豊富なアイデアを具現化 徹底したこだわりが施設の完成度の高さを生み出す

comment



阪和興業(株)  
機械部 レジャー施設課  
大木美忠氏

弊社は当プロジェクトで、遊具アトラクションや造形面でのお手伝いをさせていただきました。岡本製作所さんは、メーカーでありオペレーターでもありますから、お客さま目線に立った明確なイメージをおもちでした。

企画会議のなかでも、豊富な経験からいろいろなアイデアや意見が出され、弊社としても必死についていくという日々が続きました。細部にわたるまでこだわりを追求される姿には、チーム阪和のメンバーも共感を覚え、厳しいが充実したプロジェクトでした。

お客さまに楽しんでいただける施設づくりへのこだわりでつくり込んだ施設です。より多くのお客さまが家族揃って安全に楽しんでいただけるウォーターパークとして、末長くかわいがっていただければ、ありがたいです。

13.親子が一緒に楽しめることが、今回のリニューアルの狙いで、実際にそうした光景が当たり前のように見られる

14.15.小さな子どもが遊べる遊具が各所に配されている

16.南国リゾートの雰囲気を醸し出すウッドデッキテラス。4人掛けのテーブルが50あり、200人を収容できる

17.18.ヤシや葦簀を使ったレストスペースもつくられ、全体に木へのテイストが作り出す柔らかいイメージとなっている

ホテルのプールがイメージされていたという。

意味しているのは、「そこにいることが心地よい」雰囲気を構築するということである。まわりを緑に囲まれた環境を大いに活かしたことはもちろん、エリア内にもヤシの木をはじめ多くの緑(本物の樹木と造形をうまく混在させている)を配するとともに、一段高く設えられたウッドデッキを南国風の雰囲気に演出したり、レストスペースやプールサイドにもウッドを多用、プールエリアを囲む塀には半割の木を用いるなど、全体に木のもつ温もりが柔らかさを作り出している。そして独特なカラーリングや一つひとつのサイン類へのこだわり、遊ぶところと休憩するところを明確に分けたレイアウトも、居心地のよさを生み出すうえで大きな役割を果たしている。

また、リニューアルにあたって、以前は外側にあった芝生の広場をプールゾーンに取り込むとともに、置かれていた遊戯機器を撤去してそこも芝生にしたことも環境づくりをしていくうえでのポイントで、同時に遊園地ゾーンからプールへと自然につながる一体感が創出された。それも狙いのひとつで、遊園地ゾーンからは緑に囲まれたプールエリアが視野に入り、開放的なエントランスから手前の幼児用プール、バケツのウォーターフォール、そして奥に海賊船が見通せるという、空間としての見え方にも十分に配慮しているのである。

もちろん、安全性も徹底した。転倒対策に床面にゴムを敷き詰め、金物類を演出的に隠す工夫、木で棘が刺さらないようにする



data >>>

【施設名称】  
ウォーターパーク「カリビアン」  
【所在地】  
岐阜県中津川市蛭川5735-209  
【オープン】  
2010年7月17日  
【事業主体】  
榊岡本製作所  
【運営主体】  
榊岡本製作所  
【設計・デザイン】  
榊岡本製作所  
【遊具設計・デザイン、造形】  
阪和興業株  
【プール面積】  
約4,000㎡  
【施設内容】  
屋外プール、屋外キッズプール、ウォーターライダー(2基)、ウォーターアトラクション(海賊船、巨大バケツ型ウォーターフォール、水鉄砲、噴水、ウォーターアスレチック各種)、ウッドデッキテラス(200人収容)、レストスペースなど  
【営業期間】  
2010年7月17日～9月5日、9月11、12日  
【営業時間】  
9:30～17:00  
【料金】  
大人(中学生以上)1,000円  
子供(3歳～小学生)600円  
※入園料として、大人800円、子供500円が必要



配慮等々、細部にまで注意を払い、施工段階だけでなく施工後も人が歩いたり触れたりするところを、自らの手で確認しながら念入りにチェックしたという。

このように全体から細部にまでわたってこだわりを徹底したことが施設の完成度を高め、楽しさや心地よい雰囲気醸成へとつながっている。それは自然と利用者にも伝わるようで、夏のプールでは不可避免的なクレームが「一切なかった」ことが、何よりも雄弁に顧客の満足感を語っているといえよう。

それだけの労力とコストをかけて取り組んだだけに、今期、時間的な問題で実現できなかった企画もある。とりわけイベントや人によるソフト面でのエンターテインメントの提供は来期に持ち越す

テーマとなった。「まだアイデアはたくさんありますが、ポジティブに考えれば、今年来られたお客さまが来年また来られたときに、新しい体験をしていただける。そうして変化し続けていくことが大切だと思っています」(市来氏)。

実際、今期もリピーターは多く、早くもファンを生んでいるようで、利用者は前年の5倍以上になっているという。その人たちが来期にも顧客になることは間違いないだろうし、今年ランドに来てはじめてプールがあることを知った人がいるなど、まだ認知度が十分でないこと、今後はプール以外のエリアの刷新も進めていく計画であること等々を考えれば、2年目、3年目に向けて大きな期待がもてるであろう。



# 阪和興業株式会社

機械部

レジヤ施設第一課

〒541-8585

大阪市中央区伏見町四丁目3番9号

TEL.06-7525-5142

FAX.06-7525-5302

レジヤ施設第二課

〒104-8429

東京都中央区築地一丁目13番1号

TEL.03-3544-1908

FAX.03-3544-2252

<http://www.hanwa.co.jp/>